

平成27年度の本校の学校評価がまとまりました。本評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。昨年末に保護者の皆様アンケートにご協力いただきました。先日、皆様からのご回答と教員の自己評価(次ページ掲載)をもとに立てた、次年度での改善の方策等が適切かどうかを、学校評価会議において評価していただきました。皆様からいただきました評価結果をもとに、今後も目指すべき成果を明確に設定し、それに向けた取組の適切さを検証しながら、組織的・継続的に学校運営の改善を図っていきたくと考えております。

## 平成27年度 学校関係者評価書

北海道上士幌高等学校

### 1 本年度の重点目標

(1)一人ひとりの生徒を大切に教育の推進に努める。	学校評価委員会 学校評議員 5名 PTA役員 5名 同窓会役員 4名
(2)全ての教育活動を通して自律性の伸長を図る。	
(3)進路目標が達成できるよう、継続的に努力する態度を養わせる。	

### 2 本年度の経営方針

(1)生徒一人ひとりの個性を生かし、学ぶ意欲と確かな学力の向上を図る。	「自己評価」の適切さ 「改善の方策」の適切さ
(2)教職員の協働意識を高め、組織連携による指導体制の充実を図る。	
(3)当面の課題への対応と将来ビジョンを持って教育指導に当たる。	
(4)地域との行動連携により、開かれた学校づくりを進める。	

### 3 自己評価結果に対する外部評価

分野・領域	評価項目	達成状況	改善の方策	「自己評価」の適切さ	「改善の方策」の適切さ
学習指導	1 個に応じた指導を充実し、基礎基本の定着を図っている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の状況を把握・共有し、各々に応じた指導を実践する。また、授業改善に向けて、計画・評価・改善のサイクルを確立する。</li> <li>効果的な授業づくりに向け、学習意欲や人間関係を向上させるプログラムを、総合学習に取り入れる。</li> <li>進路意識を高めることで、学習意欲の向上に努める。また、週末課題や上高ノートを効果的に使い家庭学習を推進する。</li> <li>支援が必要な生徒について、個別の学習指導計画を作成し、評価・改善のサイクルを意識し実践する。</li> </ul>	B	B
	2 生徒の実態・進路に応じた学習指導方法や評価の研究を推進し、学力の向上を図っている	B			
	3 自主的・能動的な学習態度を育成し、学習意欲の向上を図っている	B			
	4 新学習指導要領のねらいに応じた授業改善が図られるよう努めている	B			
外部評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導が充実している。さらなる学力向上を望む。</li> <li>保護者に向けて学習シラバスを公開してほしい。</li> <li>家庭学習不足は小中からの継続も必要で、町と連携を深め改善してほしい。</li> </ul>				
生徒指導	1 面談等を通じて生徒理解に努め、基本的生活習慣の確立を図っている	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動や部活動の活性化に向け、業務の精選や役割分担を見直して、顧問が付ける状況を作る。</li> <li>集団の一員としての自覚を持たせたり、リーダーを育成するために、全教員がチームとして、通信や集会の利用、声かけ等を計画的に実践する。</li> <li>人間関係育成プログラムを作成し、総合学習に取り入れ、生徒面談や校内巡回を効果的に活用し、問題行動の未然防止に努める。</li> </ul>	B	B
	2 生徒会活動・部活動を通して自ら考え、正しく判断し行動できる力の育成を図っている	B			
	3 集団の一員として相互に助け合い、豊かな人間性を育てている	B			
	4 いじめの根絶や問題行動の未然防止に向け、きめ細かな指導を行っている	B			
外部評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生としての良識を持たせる指導にも力を入れてほしい。</li> <li>個人差もあるが、いろいろな活動を通してコミュニケーション力がついている。</li> <li>生徒が気持ちよく挨拶してくれるなど、指導が充実していると思う。</li> </ul>				
進路指導	1 自己理解を深め、能力・適性に応じた進路目標を早期に設定できるよう指導している	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>付けさせたい力を明確にした進路シラバスの充実を図り、生徒が自分の取組の成果を知り、できることできないことを認識して改善して行く仕組みを作り、総合学習等に取り入れる。</li> <li>個人面談を通して現状をイメージさせた上で、資格取得も含め、積極的な進路活動に取り組ませる。また、保護者との面談の機会を確保し、理解と協力を促す。</li> </ul>	B	A
	2 3年間を見通したキャリア教育の推進を図っている	B			
	3 資格取得の推進をしている	B			
外部評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学、就職活動について、幅広く対応していることが理解できた。</li> <li>総合学習の目的を明確にしてほしい。</li> <li>3年間を見通した取組は素晴らしい、早いうちから目的を持って進路指導がなされていると思う。</li> <li>進路指導が充実していると思う。自己評価もAで良いのではないかなと思う。</li> </ul>				
健康安全指導	1 健康や体力増進を図るとともに、精神保健面の指導を行い健全な心身の育成に努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物乱用防止講話や生と性に関わる講演等について、講師の精選も含め、計画的に実施し健全な心身の育成に努める。</li> <li>「緊急時の対応」を常に職員室等に掲示し、共通理解が図れるようにする。</li> <li>外部への情報提供を積極的に行い地域や保護者と協力した指導に努める。</li> </ul>	B	B
	2 安全・防災教育の充実を図り、緊急時の対応を身につけさせている	B			
外部評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康・安全指導に地域の方も活用してほしい。</li> </ul>				
学校運営	1 教職員間の連携を強め、協働体制を高めている	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校課題の共通理解と目標の具体化、数値化を推し、解決に向けて協働体制を高める。</li> <li>学校ホームページの一層の充実を図り、教育活動の情報を積極的に公表する。</li> <li>学校評価体制を改善し、地域や保護者、教職員の意見を学校運営に反映させる。</li> </ul>	A	A
	2 教育活動の点検・評価を確実にし、工夫・改善や問題解決の道筋を共有している	B			
	3 情報発信し、保護者や地域からの信頼に応えようとしている	B			
	4 報告・連絡・相談体制の推進に努めている	B			
外部評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員間だけでなく、地域民間企業、商工業者との連携を進め、地域で子どもを育てる体制ができるとなると良いと思う。</li> </ul>				
資質向上	1 公開授業・授業評価等を通して授業力の向上を図っている	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の評価・改善、特別支援教育等の研修への積極的参加と共有を更に推進する。</li> <li>日ごろから服務規律の保持について、事例を挙げて啓発する。</li> </ul>	A	A
	2 服務規律の厳正な保持に努めている	A			
外部評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開授業等で先生方の講義レベルと「優しく分かりやすく怒らない」指導力の高さを感じることができる。</li> <li>町民、教育委員、民生委員等、広く授業を公開してほしい。</li> </ul>				
開かれた学校	1 文書・通信の発行、HPの更新を図っている	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級通信の発行、学校ホームページの一層の充実を図る。</li> <li>各種講演会等への保護者の参加を促進する。</li> </ul>	A	A
	2 参観・見学の促進を図り、保護者や地域に丁寧な説明を行っている	A			
外部評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPが良くなっている。写真を増やすなど更に充実させてほしい。</li> <li>高齢者にとってはHPは見る機会が少ないので、別な方策も考えてほしい。</li> </ul>				

### 達成状況及び評価について

評価規準 A：十分である B：概ね十分である C：不十分である D：改善を要する